2020 年　県民意識調査

1．調査の目的

　連合群馬は、めざすべき姿である「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて、群馬県へ「政策・制度要求と提言」を行っています。その提言内容を検討するにあたり、県民の皆様の意識やご意見を基礎とするため、調査をするものです。

　なお、いただいた回答は、全体集計数として個人を特定するものではありません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2．展開・回収方法

　関係組織や団体の皆様、労働組合役員・職員や議員の協力を得て実施

　ＱＲコードから読み取り回答することができます

3．対象者および集計数

　群馬県民および、群馬県内に通勤・通学されている方１万人

4．提出期限　　３月 30 日（月）までに各担当者を通じて連合群馬へ提出

【2019 年９月の提言書提出および、意見交換の様子】

　昨年度の「政策・制度要求と提言」は、**10,231 名分**の調査結果を取り入れ立案し、９月 30 日に**山本知事へ提出**しました。また、10 月から年末にかけて８つの**地域協議会より、県内の全 35 市町村へ提出**を行なっています。

連合群馬

群馬県前橋市野中町３６１－２

ＴＥＬ　027-263-0555

ＦＡＸ　027-261-0549

http://www.rengo-gunma.gr.jp

ホームページ
ＱＲコード

連合公式キャラクター
ユニオニオン

※選択指示数に沿って回答を選び、☑をつけてください。

Q１.【１つ選択】１年前（昨年の１月頃）と比較して暮らしやすくなりましたか。

□①良くなった
□②やや良くなった
□③変わらない
□④やや悪くなった
□⑤悪くなった

Q２.【２つまで選択】あなたの心配ごと・困りごとは何ですか。

□①雇用や職場環境
□②生活費や収入
□③子どもの保育や教育
□④健康・医療
□⑤自分や家族の老後
□⑥土地や住宅
□⑦トラブルや犯罪被害
□⑧政治や経済の動向
□⑨地震・噴火・台風・雪害などの自然災害
□⑩その他（　　）
□⑪特にない

Q３.【そう思うものを全て選択】群馬県で働き、ずっと暮らしていくために、充実した方が良いと思うものはありますか。

□①高齢者対策（働く意欲のある高齢者の労働環境整備、健康増進・生きがいなどの施策）
□②県内学生（高校・大学、専門学校等）向けの、県内優良企業紹介の強化
□③現在、求職中の人への支援強化
□④外国人労働者が働きやすい環境整備（生活・労働相談、言語の支援充実など）
□⑤Ｕターン、移住希望の労働者への情報提供や支援
□⑥有期雇用労働者の、無期化や正規職員化の促進
□⑦新生児期から高齢まで、人生に寄り添った今より手厚い医療制度
□⑧ＬＧＢＴ、ＳＯＧＩ※などの理解普及や、パートナーシップ協定、同性婚などの政策
□⑨教育に関する多様な施策の充実
□⑩公共交通の整備
□⑪商業施設、体育施設、レジャーランドの誘致
□⑫子育てしやすい施策（こどもの貧困対策なども含む）
□⑬その他（　　）
□⑭わからない

※LGBT は、「性的少数者の総称」として一般的に用いられています。SOGI とは、性的指向（好きになる性）、性自認（心の性）の「人の属性を表す略称」です。異性愛の人なども含め全ての人が持っている属性のことを言います。

Q４.【あてはまるもの全て選択】「働き方改革」（残業を少なく、有給休暇を取るなど）と言われています。あなたの職場には、「働き方改革」として実施あるいは予定の施策がありますか。

□①残業の縮減や長時間労働是正への取り組み（定時退社日（ノー残業デー）、36 協定の上限時間の縮減等）
□②有給休暇取得率向上の取り組み
□③フレックスタイム制度（働く時間の多様化）、テレワーク（働く場所の多様化）等の導入
□④職場の風土改革やコミュニケーションの活性化を図る取り組みや研修の実施
□⑤自分の働き方では関係ない
□⑥ない。わからない
□⑦現在は働いていない
□⑧その他（　　）

Q４－２.【あてはまるもの全て選択】Q４で、①～⑥を選択した方にうかがいます。「働き方改革」でどのように変わりましたか。

□①働きやすい環境になった
□②帰宅時間が早くなって、身体が休まるようになった
□③休暇が取りやすくなったので、趣味や家族との時間が増えた
□④仕事を時間内に終わらせなければならないので、むしろ忙しい
□⑤働く時間数は変わらないので、実はサービス残業が増えてしまった
□⑥今までと変わりない
□⑦その他（　　）

Q５.【そう思うもの３つ選択】あなたや家族が運転免許証を返納し、自家用車がなくなり身内の支援も受けられなくなったら、どのような交通環境が必要だと思いますか。

□①路線バスの充実やショッピングモール、病院などとのシャトルバス運行
□②買った物や大きな物を宅配してくれるサービス
□③バス・鉄道の待合所の整備
□④交通系ＩＣカードの充実（どの交通機関でも使えるなど）
□⑤行政などからの運賃補助
□⑥近距離低額タクシーや乗り合いタクシー
□⑦鉄道とバスの乗り継ぎの充実や、定刻運行、待ち時間の短縮
□⑧自転車走行や、歩行に安全な道路
□⑨その他（　　）

Q６.【そう思うものを全て選択】ゴミの減量化の中で、群馬県内のリサイクル率が低下（15.7%前年比－0.6%）しています。あなたがゴミ処理や、ゴミ出しの時に感じることで、近いものはありますか。

□①ゴミはできる限り分別している
□②プラゴミは、洗浄するのが面倒
□③プラと紙の混ざった梱包は分別しづらい
□④職場（事業系ごみ）と自宅（家庭ごみ）で分別方法が違い混乱する
□⑤ゴミ収集のカレンダーが分かりづらい
□⑥プラスチック製品の破棄は可燃やリサイクル（プラゴミ）などの区別が分かりづらい
□⑦分別ができない（わからない）ゴミがある
□⑧可燃と不燃を混ぜて捨てられているのを見ると不快だ
□⑨その他（　　）
□⑩特にない

アンケートは３ページへ続きます

Q7.【行ったことを全て選択】昨年は群馬県内でも、台風などによる大きな自然災害が発生しました。昨年の台風 19 号の際のあなたの行動や近いものはなんですか。

□①大きな台風と聞いたので、食品の備蓄・災害必需品（防災グッズ）の用意を行った
□②ハザードマップを確認した
□③地域の災害情報をインターネットで確認した
□④テレビ・ラジオから常に情報を得るようにしていた
□⑤防災無線に注意した
□⑥水を確保し断水に備えた
□⑦あらかじめ車のガソリンを満タンにしておいた
□⑧その他（　　）

Q8.【行ったことを選択】台風接近時、どのように過ごしましたか。

□①避難指示があり避難した
□②避難指示はあったが避難しなくてすんだ
□③避難指示はなかったが避難した（避難勧告の避難も含む）
□④避難が難しそうな身近な人の様子を確認した
□⑤避難勧告や避難指示があったかわからなかった
□⑥普段どおり過ごした（特別なことはしなかった）
□⑦その他（　　）

Q9. ご自身のことについて教えてください。

1）居住地

□①前橋市　□②高崎市　□③桐生市　□④伊勢崎市　□⑤太田市　□⑥沼田市
□⑦館林市　□⑧渋川市　□⑨藤岡市　□⑩富岡市　□⑪安中市　□⑫みどり市
□⑬北群馬郡　□⑭多野郡　□⑮甘楽郡　□⑯吾妻郡　□⑰利根郡　□⑱佐波郡
□⑲邑楽郡　□⑳県外

2）性別

□①男性　□②女性

※回答の男女意識の差を検証したいため、性別を問う必要性があります。
しかし、記載したくない場合は、無記載でもかまいません。

3）年代

□①10 代　□②20 代　□③30 代　□④40 代
□⑤50 代　□⑥60 代　□⑦70 歳以上

4）職業・属性

□①会社員（正社員）　□②公務員（正職員）　□③農・林業　□④経営者　□⑤団体職員
□⑥自営業（家族従業員含む）　□⑦学生　□⑧派遣社員
□⑨パート・アルバイト・契約社員等いわゆる非正規労働者（公務員を含む）と研修生等
□⑩専業主婦（夫）（短時間でもパート勤務等している方は、⑧を選択）　□⑪無職　□⑫その他

5）仕事や学業で県外の生活の経験がありますか

□①ある　□②ない

6）職場に労働組合はありますか

□①ない　□②ある（組合員）　□③ある（非組合員）

これで終わりです。ありがとうございました。